



令和7年度学校評価アンケート集計結果報告 与進北小学校

～ 12月に実施したアンケートの結果から ～

今回は、質問項目に対し、「よくできた」「できた」「あまりできなかった」「できなかった」の4つの回答選択を設定することで、より詳細に実態にアプローチできるようにしました。

自分のよさを伸ばせるように

およそ92%の児童が「学校は楽しい」と回答しました。子供たちが充実した学校生活を送っている様子が感じられます。また、およそ85%の児童が「自分には、よいところがある」と回答しました。一人一人の良さを大切に、前向きに楽しく学校生活を送ることができるよう、引き続き学校教育目標「進んで行い 共に生きる子」の実現を目指していきたいと思います。

自分の夢に向かって

「粘り強く取り組むことができた」と回答した児童が85%、保護者は73%を超えました。学校では、子供たちなりに頑張れるよう、様々な機会を設定したり、個に応じた助言をしたりと働き掛けをしてきました。また、御家庭では、家族がお子さんの頑張りを認め励ましていただきました。これからも、学校と家庭、そして地域が連携しながら、子供たちの「進取」の気持ちを育てていきたいと思います。

考え方や立場の違いを受けとめ、いじめのない生活を送ることができるように

【いじめ基本方針に対応して】

およそ82%の児童が「人の気持ちを考えて、行動できた」と回答しました。一人一人が、相手を尊重し、よりよく関わろうとすることを大切にしていることが伺えるとともに、第4次浜松市教育総合計画の「多様性・包摂性」につながると考えます。本校でも、これからの時代を生きる子供たちに必要である「対話」を意識した授業や生活を意図的に設定して、この1年取り組んできました。自らの思いや考えを持ち、自らの言葉で伝え合うこと、誰とでも協働的に関わっていくことなどがさらにできるよう、支援していきます。

ICT教育の推進を図ることができるように

およそ80%の教職員が、今年度、「タブレット等を効果的に活用し、授業改善に取り組んだ」と回答しました。引き続き、ICTの活用を進めていくとともに、保護者の方々にもその取組の様子を伝えたり、教職員研修を進めたりすることができるように努めていきたいと思います。そして、これからの情報化社会を生きる子供たちがICT機器を道具として使いこなすことができるとともに、ICT機器やSNSを安全に利用していくよう4・5・6年生を対象に情報モラル講座を行いました。情報モラル・リテラシーをしっかりと身に付け、情報を活用し、豊かに生活することができるように取り組んでいきます。

本校の児童は、家庭・地域の御支援のもと、落ち着いた学校生活を送ることができています。保護者の皆様からは、全体的に肯定的な評価を頂くことができました。本校の教育活動へ御理解・御協力に感謝いたします。「笑顔あふれる学校」に向け、学校・家庭・地域が連携し、これからの生きる力を育てていきたいと考えます。アンケート結果を踏まえて、今後、児童が、さらに「進取」の気持ちで様々な活動に、自ら挑戦することができるように、支えていきます。

アンケートへの御協力、ありがとうございました。皆様の御意見を来年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。

今後も、学校・家庭・地域が連携して、児童の成長を支えていきたいと考えます。今後とも御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

